

平成二十八年年度 C 調査問題 小学校五年 国語

五年 () (組) () 番 氏名 ()

※答えは全て、解答用紙に書きましよう。

正答数
問/12 問

1 次は、『だいたいようぶ だいたいようぶ』という題名の【物語の始まり】・【物語の終わり】です。これをお読みして、あとの問いに答えましよう。

【物語の始まり】

ぼくが今よりずっと赤ちゃんに近く、おじいちゃんが今よりずっと元気だったころ、ぼくとおじいちゃんは毎日のように、お散歩を楽しんでいました。ぼくたちのお散歩は、家の近くをのんびりと歩くだけのものでしたが、遠くの海や山をぼうけんするような楽しさにあふれていました。

く (中略) く

でも、新しい発見や楽しい出会いが増えれば増えるだけ、こまったことや、こわいことにも、出会うようになりました。お向かいのけんちゃんは、わけもなくぼくをぶつし、おすましのくみちゃんは、ぼくに会うたびに顔をしかめます。犬はうなづいて歯をむき出し、自動車は、タイヤをきしませて走っていきます。飛行機は空から落ちることがあるのも知ったし、あちらにもこちらにも、おそろしいばいきんがうようよしてることもしりました。いくら勉強したって読めそうにない字があふれているし、何だか、このまま大きくなれそうにないと、思えるときもありました。

だけどそのたびに、おじいちゃんが助けてくれました。おじいちゃんは、ぼくの手をにぎり、おまじないのようにつぶやくのです。

①「だいたいようぶ、だいたいようぶ。」

く (物語が続く) く

【物語の終わり】

く (物語の続き) く

②「だいたいようぶ、だいたいようぶ。」
ぼくとおじいちゃんは、何度その言葉をくり返したことでしよう。けんちゃんともくみちゃんとも、いつのまにか仲良くなりました。犬に食べられたりもしませんでした。何度も転んでけがもしたし、何度も病気になるました。でもそのたびに、すっかりよくなりました。車にひかれることもなかったし、頭に飛行機が落ちてくることもありませんでした。むしろ本も、いつか読めるようになると思います。もつともつと、たくさんの人や動物や草や木に出会えると思います。

ぼくは、ずいぶん大きくなりました。おじいちゃんは、ずいぶん年を取りました。だから今度はぼくの番です。

おじいちゃんの手をにぎり、何度でも何度でもくり返します。

③「だいたいようぶ、だいたいようぶ。」
だいたいようぶだよ、おじいちゃん。

く (新しい国語「五 東京書籍 いとうひろし」
『だいたいようぶ だいたいようぶ』による) く

一 物語の中に「だいたいようぶ、だいたいようぶ。」という言葉が三回出てきます。また、この物語は、過去のことを思い出して語っているところと、現在のことを語っているところがあります。――部①から――部③までの「だいたいようぶ、だいたいようぶ。」は、それぞれ「だれが」「いつ」「言っている言葉でしうか。次の1から3までと、4から5までの中からそれぞれ一つずつ選んで、番号を書きましよう。」

だれが	いつ
1 ぼくとおじいちゃん	4 現在
2 ぼく	5 過去
3 おじいちゃん	

二 ――部③「だいたいようぶ、だいたいようぶ。」は、あなたならどのようにして声に出して読みますか。次の条件に合わせて書きましよう。

〈条件〉

- 声に出して読むときにくらうする「と」を書くこと。くは、例えは、声の調子(力強く、やさしくなど)や読む速さなどがある。
- なせそのように読むのかという理由を書くこと。理由には、場面の様子やあなたが想像した「ぼく」の気持ちを取り上げること。
- 四十字以上、八十字以内にまとめて書くこと。

② 五年生の田中さんは、「小学生の握力が調査開始以来、過去最低だった」という記事を読んで、疑問をもちました。そこで、自分たちの小学校における握力の平均の変化について調べ、次の【報告文】を書きました。よく読んで、あとの問いに答えましょう。

【報告文】

あく力の平きんの変化

南小学校 田中 勇氣

一 調べた理由

「小学生のあく力が調査開始以来、過去最低だった」という記事を見つけた。その記事には、全国の小学校五年生のあく力の平きんが下の【表】のようにまとめられていた。平成二十七年の平きんは、調査を開始した平成二十年の平きんより低くなっていた。

ぼくたちの学校でも同じだろうかというぎもんがわいてきた。

そこで、南小学校の平きんの変化について調べ、記事と比べてみることにした。

二 調べた内容と結果

南小学校における五年生の平きんについて、平成十八年（現在）と、平成二十年（記事で取り上げられていた八年前）を取り上げて調べた。

◇平成二十八年の南小学校五年生の平きん

一つめとして、ぼくたち五年生の平きんを調べた。まず、体育の時間に学年全員のあく力を計った。計った人数は、男女ともに三十五人ずつだった。次に、平きんを先生に出してもらった。平きんは、男子は一六・三kg、女子は一五・八kgだった。

一 次は、田中さんが調べる内容を書いた【メモの一部】です。【報告文】の「二 調べた内容と結果」を読んでも、**ア**の中に入るふさわしい内容を書きましょう。

【メモの一部】

◇平成二十八年の平均

① **ア**

- 日時 平成二十八年六月二十九日 三時間目
 - 場所 体育館
 - 人数 男子三十五人 女子三十五人
 - 準備 記録用紙、握力計
- ② 平均を先生に出してもらおう

◇平成二十年の平均

…

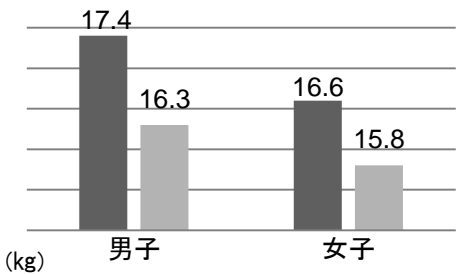
◇平成二十年の南小学校五年生の平均

一つめとして、平成二十年のぼくたちの小学校の五年生の平きんを調べた。学校図書館でさがしたが、データが見つからなかった。そこでたんにんの先生に相談すると、先生がデータを見つけてくださった。平きんは、男子は十七・四kg、女子は十六・六kgだった。

三 わかったこと・思ったこと

平成二十八年と平成二十年の南小学校の平きんを下のようにまとめた。

【グラフ】あく力の平きんの変化（南小学校）



そして、どうしてあく力の平きんが落ちてしまったのか、新しいぎもんもわいてきた。

これからも、体力や運動に仕方などに関心をもって、いろいろな本を読んで調べたり、積極的に取り組んだりしたい。

A

二 田中さんは、【報告文】の **A** の中に、調べてわかったことを書きました。あなたならどのような内容を書きますか。次の〈条件〉に合わせて書きましょう。

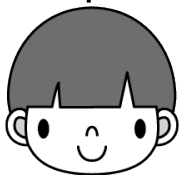
〈条件〉

- 【グラフ】をもとに、わかったことを書くこと。
- 報告文の「一 調べた理由」に書かれた内容と結び付けて書くこと。
- 八十文字以上、百字以内にまとめて書くこと。

3 大竹さんのクラスでは、毎朝、一人ずつ一分間スピーチをしています。次は、【大竹さんの一分間スピーチ】と、それを聞いている太田さん、三村さん、今井さんの【心の中の声】です。この三人は、どのような聞き方をしていますか。それぞれについて説明しているものを、あとの1から5までのの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましよう。

【大竹さんの一分間スピーチ】

わたしは、今朝、テレビで見たニュースについて話したいと思います。



大竹さん

昨日、〇〇市の住たく地に、とつ然、一頭のニホンカモシカが現れたそうです。住民にき害が加わるといけな
いということで、地元の警察や消防団の方たちがカモシカをとらえようとしたが、あばれて、なかなかつかまえることができません。そこで、地元のりよう友会の方が、ますいじゆうをうって、カモシカがたおれたところ
でようやくとらえることができました。

カモシカは殺されることなく、山に放されたそうですが、わたしは、そのカモシカがとても気の毒に思いました。どうしてかと言うと、図書館で「人間が森を開発したから、山の動物たちの住むところがどんどんなくなっている」という本を読んだことがあるからです。

最近、クマが出ぼつして人をおそつたというニュースも多いですが、カモシカが人をおそつたという話はあまり聞いたことがありません。カモシカは草食動物で、不用意に近づかなければ、向こうからこうげきしてくることはないそうです。

それなのに、人間の都合で、住むところをうばわれたり、ますいじゆうをうたれたりするのは、かわいそうだと思います。

これで、わたしの一分間スピーチを終わります。

【心の中の声】

わたしは、動物園でカモシカを見たことがあるけど、大竹さんの言うとおりにおとなしそうな動物だったな。



太田さん

たしかにカモシカはかわいそうだったけど、そこに住んでいた人たちもこわかったと思うから、仕方ないのではないかな。



三村さん

大竹さんはニュースをよく見ていてすごいな。そのニュースに対して自分の意見をもってスピーチしているから説得力があるな。



今井さん

- 1 発表に対して反対の立場に立ち、疑問をもちながら聞いている。
- 2 どのようなことを目的とした発表なのかを考えながら聞いている。
- 3 スピーチの内容について評価しながら聞いている。
- 4 発表の内容と自分の体験を関係付けながら聞いている。
- 5 自分が予想した通りかをたしかめながら聞いている。

五年（ ）組（ ）番 氏名（ ）

正答例

正答数

問/12問

1

③	②	①
だれが	だれが	だれが
2	1	3
いつ	いつ	いつ
4	5	5

正答例 二

る	な	す	わ
言	お	。	た
葉	じ	ー	し
だ	い	ぼ	は
か	ち	く	、
ら	や	ー	や
で	ん	が	さ
す	を	、	し
。	安	年	く
	心	を	語
	さ	取	り
	せ	っ	か
	る	て	け
	た	し	る
	め	ま	よ
	に	っ	う
	言	た	に
	っ	大	読
	て	好	み
	い	き	ま

2

正答例 一

と	記	て	成	南
が	事	い	二	小
わ	と	た	十	学
か	同	。	年	校
っ	じ	こ	よ	の
た	よ	の	り	五
。	う	こ	も	年
	に	と	平	生
	、	か	成	の
	あ	ら	二	平
	く	、	十	均
	力	ぼ	八	は
	が	く	年	、
	低	た	の	男
	下	ち	方	子
	し	の	が	も
	て	学	低	女
	い	校	く	子
	る	で	な	も
	こ	も	っ	平

体育の時間に学年全員のあく力を計る

3

太田さん
4

三村さん
1

今井さん
3

解説

平成二十八年年度 C調査問題 小学校五年国語 解答用紙

五年（ ）組（ ）番 氏名（ ）

正答例

正答数

問/12問

① だれが 3 1 3
② だれが 2 1 3
③ だれが 4 5 5

一 それぞれの「だいじょうぶ、だいじょうぶ。」という言葉はだれがだれに対して言った言葉か、どんな意味や気持ちがおこめられているか考えてみましょう。

また、物語の中で、「ぼく」が、過去のことを思い出して語っているところ、現在のことを語っているところがあります。過去のことと現在のことが、どこで変わるのかをさがしてみよう。

二 「ぼくは、ずいぶん大きくなりました。おじいちゃん、ずいぶん年を取りました。だから今度はぼくの番です。おじいちゃんの手をにぎり、何度でも何度でもくり返します。」などの文章に着目して、「ぼく」の気持ちを想像し、読むときの工夫を考えて（条件）にしたがって書きましよう。

【正答例】
○わたしは、力強く読みます。いつも「だいじょうぶ、だいじょうぶ。」と、はげましてくれました。おじいちゃんの手をにぎり、「今度はぼくの番」と決意して言っているからです。（七十七字）

【誤答例】
×わたしは、やさしく語りかけるように読みます。特に2回目の「だいじょうぶ」のところがやさしく読んで、「ぼく」の気持ちを表したいです。（六十五字）
↓読むときの工夫は書かれていますが、理由になる場面の様子や「ぼく」の気持ちが書かれていません。

③	②	①
だれが	だれが	だれが
2	1	3
いつ	いつ	いつ
4	5	5

正答例 二

る	な	す	わ
言	お	。	た
葉	じ	「	は
だ	い	ぼ	、
か	ち	く	「
ら	や	」	や
で	ん	が	さ
す	を	、	し
。	安	年	く
	心	を	語
	さ	取	り
	せ	っ	か
	る	て	け
	た	し	る
	め	ま	よ
	に	っ	う
	言	た	に
	っ	大	読
	て	好	み
	い	き	ま

二 正答例 一
一 体育の時間に学年全員のあく力を計る

と	記	て	成	南
が	事	い	二	小
わ	と	た	十	学
か	同	。	年	校
っ	じ	こ	よ	の
た	よ	の	り	五
。	う	こ	も	年
	に	と	平	生
	、	か	成	の
	あ	ら	二	平
	く	、	十	均
	力	ぼ	八	は
	が	く	年	、
	低	た	の	男
	下	ち	方	子
	し	の	が	も
	て	学	低	女
	い	校	く	子
	る	で	な	も
	こ	も	っ	平

今井さん	三村さん	太田さん
3	1	4

一 太田さん 三村さん 今井さん 4 1 3

それぞれ的人物の聞き方に注目して考えましょう。太田さんは、「動物園でカモシカを見た」という自分の経験と関係付けて聞いているので、4に当てはまります。三村さんは、カモシカの立場からでなく、住んでいる人たちの立場から考えているので、1に当てはまります。今井さんは、大竹さんがニュースを見て感じた自分の意見をスピーチしていることに対して評価しているので、3に当てはまります。

一 【報告文】の「二 調べた内容と結果」の「◇平成二十八年の南小学校六年生の平きん」に書いている文章の中の「一つめとして」、「まず」、「次に」などの語句に着目し、調べる内容の一つめこの目をかじよう書きで書く必要があります。

【正答例】 ○体育の時間に学年全員のあく力を計る
↓報告文としての構成をとらえられず、調べる内容として必要なことにふれていません。

二 まず、「グラフ」をよく見て、平成二十年と平成二十八年の平均のちがいに気づきましょう。次に、報告文の「一 調べた理由」に書かれている「記事」や「きもん」と結び付けて、「条件」にしたがって書きましょう。

【正答例】 ○すると、記事を読んでも思っていたことがはっきりした。グラフを見ると、全国の調査と同じように、南小学校でも、男子も女子も平成二十年よりも平成二十八年の方があく力が低下していることがわかった。（九十八字）

【誤答例】 ×グラフを見ると、南小学校の五年生の平均は、男子も女子も平成二十年よりも平成二十八年の方が低くなっている。（五十二字）
↓「グラフ」をもとにして、わかったことを書いているが、「報告文」の「一 調べた理由」に書かれた内容と結び付けて書かれていません。

小学校5年国語 1 解説シート

◆出題の趣旨

登場人物の相互関係を捉えたり、場面の様子や登場人物の気持ちを想像しながら音読したりすることができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

〔第3学年及び第4学年〕 C 読むこと

ア 内容の中心や場面の様子がよく分かるように音読すること。

〔第3学年及び第4学年〕 C 読むこと

ウ 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと。

◆解答類型

人 %

1	① だ れ が	1	◎	3と解答しているもの				
		9		上記以外の解答				
		0		無解答				
		① い つ	1	◎	5と解答しているもの			
			9		上記以外の解答			
			0		無解答			
		② だ れ が	1	◎	1と解答しているもの			
			9		上記以外の解答			
			0		無解答			
	② い つ	1	◎	5と解答しているもの				
		9		上記以外の解答				
		0		無解答				
	③ だ れ が	1	◎	2と解答しているもの				
		9		上記以外の解答				
		0		無解答				
	③ い つ	1	◎	4と解答しているもの				
		9		上記以外の解答				
		0		無解答				
	二				(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 声に出して読むときに工夫することを書いている。 ② 場面の様子や「ぼく」の気持ちについて想像したことを理由として取り上げている。 ③ 40字以上、80字以内で書いている。 (正答例) ・わたしは、やさしく語りかけるように読みます。「ぼく」が、年を取ってしまった大好きなおじいちゃんを安心させるために言っている言葉だからです。(69字) ・わたしは、力強く読みます。いつも「だいじょうぶ、だいじょうぶ。」と、はげましてくれたおじいちゃんの手をにぎり、「今度はぼくの番」と決意して言っているからです。(77字)			

1	◎	条件①, ②, ③を満たしているもの		
2		条件①, ②は満たしているが, 条件③は満たしていないもの		
3		条件①は満たしているが, 条件②は満たしていないもの ・わたしは, やさしく語りかけるように読みます。特に2回目の「だいじょうぶ」のところをやさしく読んで, 「ぼく」の気持ちを表したいです。(65字) *条件③を満たしているかどうかは不問とする		
4		条件②は満たしているが, 条件①は満たしていないもの ・いつも「だいじょうぶ, だいじょうぶ。」と, はげましてくれた大好きなおじいちゃんに安心してもらおうと, 「今度はぼくの番」と決意しているからです。(71字) *条件③を満たしているかどうかは不問とする		
9		上記以外の解答		
0		無回答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

○ 登場人物の性格や気持ちの変化などを複数の叙述を基に捉える

物語を読む際は, 登場人物の行動や会話など, 複数の叙述を基にしながら, それぞれの登場人物の特徴や性格を押さえ, 人物像を捉えることができるように指導することが必要である。

具体的には, 登場人物の人物像を捉えるために, 物語全体を通して人物像が分かる行動描写や会話などに印を付けたり線を引いたりし, それら複数の叙述を関係付けながら表に整理することなどが考えられる。各場面の様子に気を付けながら, 場面と場面とを関係付け, 登場人物の特徴や性格が分かる叙述を押さえていくことで, 登場人物の人物像を多面的に捉えることができる。

シリーズとして刊行されている作品には, 登場人物や状況設定など, 共通した特徴をもつものが多い。シリーズの作品を重ねて読んでいくことで, そうした特徴に気付くことができると考えられる。

○ 昔話の好きな場面を選び, 音読して紹介する活動についての指導例

1 自分の好きな昔話を音読して紹介するという単元の見直しをもつ

二つの違った音読のモデルを示し, 児童が二つの音読を比較しながら, 読み手の感じ方の違いによって音読の仕方が変わること気付くようにする。様々な声を出すことで, 音読を工夫することに対する興味・関心を高めるようにする。

2 教材の文章を使って, 繰り返し音読をしながら, 音読の工夫とその理由を明らかにする

音読を中心にしながら, 場面の移り変わりや登場人物の気持ちの変化を捉えるようにする。「音読するとき工夫するポイント」を具体的に示すことで, 児童が音読を繰り返しながら, 自分の感じ方に合う音読の仕方を見付けることができるようにする。

3 並行読書の中から選んだ作品を紹介するために音読の工夫をする

自分が感じたことを音読で表し, 友達や他学年の児童に紹介する。

(参照)

- ・平成28年度【小学校】解説資料」P.28
- ・平成27年度【小学校】授業アイデア例」P.7～P.8

小学校5年国語 2 解説シート

◆出題の趣旨

目的や意図に応じて、必要な事柄を整理し、表やグラフなどと関係付けて、見出しや意見を書くことができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

〔第3学年及び第4学年〕 B 書くこと

ウ 書こうとするものの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと。

〔第3学年及び第4学年〕 C 読むこと

エ 目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること。

◆解答類型

人 %

		1 ◎			
2	一	9	「体育の時間に学年全員のあく力を計る」などと解答しているもの		
		0	上記以外の解答		
2	二		(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 【グラフ】をもとに、わかったことを書いている。 ② 報告文の「一 調べた理由」に書かれた内容と結び付けて書いている。 ③ 80字以上、100字以内で書いている。 (正答例) ・南小学校の5年生の平均は、男子も女子も平成20年よりも平成28年の方が低くなっていた。このことから、ぼくたちの学校でも記事と同じように、あく力が低下していることがわかった。(87字) ・すると、記事を読んでぎもんに思っていたことがはっきりした。グラフを見ると、全国の調査と同じように、南小学校でも、男子も女子も平成20年よりも平成28年の方があく力が低下していることがわかった。(97字)		
		1 ◎	条件①、②、③を満たしているもの		
		2	条件①、②は満たしているが、条件③は満たしていないもの		
		3	条件①は満たしているが、条件②は満たしていないもの ・グラフを見ると、南小学校の5年生の平均は、男子も女子も平成20年よりも平成28年の方が低くなっていた。(52字) *条件③を満たしているかどうかは不問とする		
		4	条件②は満たしているが、条件①は満たしていないもの ・グラフを見ると、ぼくたちの学校でも同じだろうかというぎもんに、はっきりわかってよかった。(47字) *条件③を満たしているかどうかは不問とする		
		9	上記以外の解答		
		0	無回答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

○ 図表やグラフから分かったことを書く

図表やグラフなどを読み、分かったことを的確に書くには、情報を正しく読み取り、必要な情報について適切な言葉を用いて記述することが重要である。そのためには、社会科や算数科等で学習した図表やグラフの読み方を確認し、読み取ったことを的確に表現することができるように指導していくことが大切である。

具体的には、一つのグラフを取り上げて全体的な特徴や変化の特徴を捉える学習、複数の図表やグラフを比較したり関係付けたりする学習などを通して、図表やグラフの読み方を理解することができるように指導することが考えられる。

さらに、読み取った情報を相手に分かりやすく伝えるための言葉を選択することも重要である。例えば、必要な数値（60%以下、12人以上等）を使って説明する場合、概略を示す言葉（およそ、大抵が等）を使って説明する場合、比較を示す言葉（上回る、下回る等）を使って説明する場合などがある。これらの表現の内容の違いや効果を比べ、目的に応じて使い分けることができるように指導することが大切である。

○ 目的や意図に応じ、図表やグラフを用いて、自分の考えを書く

図表やグラフを用いて自分の考えを書く際には、図表やグラフなどから目的に応じて必要な情報を取り出し、比較したり関係付けたりしながら自分の考えを明確にすることが重要である。

具体的には、観察したり、実験したり、調査等を行ったりして得られた結果などの事実を図表やグラフで示し、自分がどのように読み取って分析したのか、そこからどのような考えをもったのかを具体的に記述するような学習が重要である。その際、図表やグラフの何に着目するのか、図表やグラフの中にあるどの数値や言葉を使って書くことが効果的であるのかを検討する必要がある。また、用いた図表やグラフとその分析内容が、自分の考えを明確に伝えるための根拠となっているのかを確かめていくことも大切である。

○ 自分の考えを述べるために必要な図表やグラフを用いて、文章を書く活動についての指導例

1 何を伝えたいのかを確認し、必要な情報を探す

自分の伝えたいことを明確にし、書名、目次、索引、見出し、手掛かりとなる言葉などに気を付けて、資料などを速く大まかに読む。

2 必要な情報がどこにどのように書かれているか見付けながら読む

「図表やグラフの読み取りポイント」に基づき、各自で、図表やグラフから読み取ったことをまとめる。

3 見つけた情報によって自分の伝えたいことが伝わるか考えながら読む

「自分の伝えたいこと」と「図表やグラフから読み取ったこと」との照応について、説得力を高めているか確かめる。

4 選んだ図表やグラフ、絵、写真などの資料を用いて、文章を書く

自分が選んだ図表やグラフ、絵、写真などは、伝えたいことに合っているかを考え、選んだ資料を用いて伝えたいことを書く。

(参照)

- ・「平成 28 年度【小学校】解説資料」P. 51
- ・「平成 27 年度【小学校】授業アイディア例」P. 6

小学校5年国語 3 解説シート

◆出題の趣旨

話の内容に対する聞き方を工夫することができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

〔第3学年及び第4学年〕 A 話すこと・聞くこと

エ 話の中心に気を付けて聞き、質問をしたり感想を述べたりすること。

◆解答類型

人 %

3	太田さん	1 ◎	4と解答しているもの		
		9	上記以外の解答		
		0	無解答		
	三村さん	1 ◎	1と解答しているもの		
		9	上記以外の解答		
		0	無解答		
	今井さん	1 ◎	3と解答しているもの		
		9	上記以外の解答		
		0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

○ 目的や意図に応じて聞き方を工夫する

相手の話を聞く際は、相手の話の目的や意図を捉えながら内容を十分に聞き取るとともに、取り上げられた内容について、自分の考えと比べ、共通点や相違点、関連して考えたことなどを整理し、自分の考えをまとめるように指導することが大切である。

目的や意図に応じて聞き方を工夫するためには、聞くことの学習の機会を意図的・計画的に設定して指導する必要がある。例えば、高学年の提案スピーチでは、以下のような観点を意識しながら聞き、考えをまとめることができるような指導が考えられる。

1 提案の理由に着目して聞く

- ・どのような思いや願いで話しているかを聞く。(目的・意図)
- ・どのようなことを基に話しているかを聞く。(理由・根拠)

【発問例】

「どのようなことを基に、どのようなことを提案しているかを考えながら聞きましょう。」

2 提案の内容と自分（たち）の様子とを重ね合わせて聞く

- ・自分のもっている知識と結び付けながら聞く。(知識)
- ・自分（たち）の様子と結び付けながら聞く。(経験)

【発問例】

「提案を自分の知っていることや経験したことと比べながら聞きましょう。」

3 提案の効果や妥当性を判断しながら聞く

- ・反対の立場に立ち、疑問をもちながら聞く。(疑問)
- ・目標達成につながるかなど、評価しながら聞く。(評価)

【発問例】

「提案に対して疑問をもったり、目標を達成できるかを評価したりしながら聞きましょう。」

(参照)

- ・「平成25年度【小学校】授業アイデア例」P.9～P.10
- ・「平成26年度【小学校】授業アイデア例」P.9～P.10

小学校5年国語「P調査問題」「全国学力・学習状況調査」とのつながり

国語のC調査問題は、4月に実施したP調査問題の結果や全国学力・学習状況調査の早期採点の結果から明らかになった各校の課題が、2学期までの授業でどのくらい改善できているかを確認できるように作成してあります。

下記のようにP調査問題や全国学力・学習状況調査問題と関連付けてありますので、自校の取組の成果と課題改善のためにご活用ください。

C調査 問題番号	「平成28年度P調査問題」・「平成28年度全国学力・学習状況調査」との関連
1	P調査問題 1 全国学力・学習状況調査 国語A 6
2	P調査問題 2 全国学力・学習状況調査 国語B 2 一 二
3	P調査問題 3

平成28年度 C調査問題 小学校5年算数

5年()組()番 氏名()

(答えはすべて解答用紙にかきましょう)

【1】 次の計算をしましょう。

(1) 3.4×27

(2) $35.7 \div 7$

(3) $9 - 0.5 \times 2$

(4) $1\frac{3}{5} + \frac{4}{5}$

【2】 $2.1 \div 0.7$ を、「わられる数とわる数に同じ数をかけても商は変わらない」というわり算の性質を使って、次のように計算します。

2.1	\div	0.7	$=$	ウ
$\downarrow 10$ をかける $\downarrow 10$ をかける				
ア	\div	7	$=$	イ

左のア、イ、ウに入る数を書きましょう。

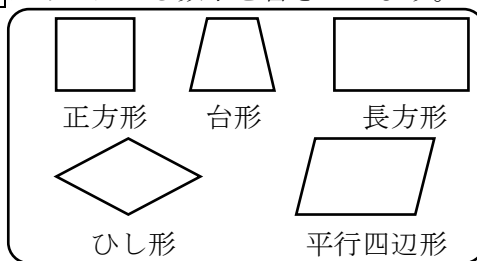
【3】 次の各問いに答えましょう。

(1) 2.25m^2 の長方形の面積は、ア cm^2 と表されます。アにあてはまる数字を書きましょう。

(2) 次の①～③のすべての持ちょうをもっている四角形を

右の中から見つけ、その図形の名前を書きましょう。

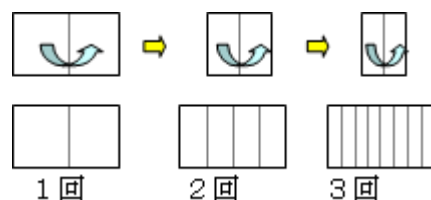
- ① 向かい合う辺の長さが2組とも等しい四角形
- ② 2本の対角線が垂直に交わる四角形
- ③ 直角がある四角形



【4】 長方形の紙を右の図のように2つに折り、それをまた2つに折り、さらに2つに折ります。

折り目で分けられた長方形の数が16個になるのは、もとの長方形を何回折って広げたときでしょう。

折った回数(回)	1	2	3
長方形の数(個)	2	4	



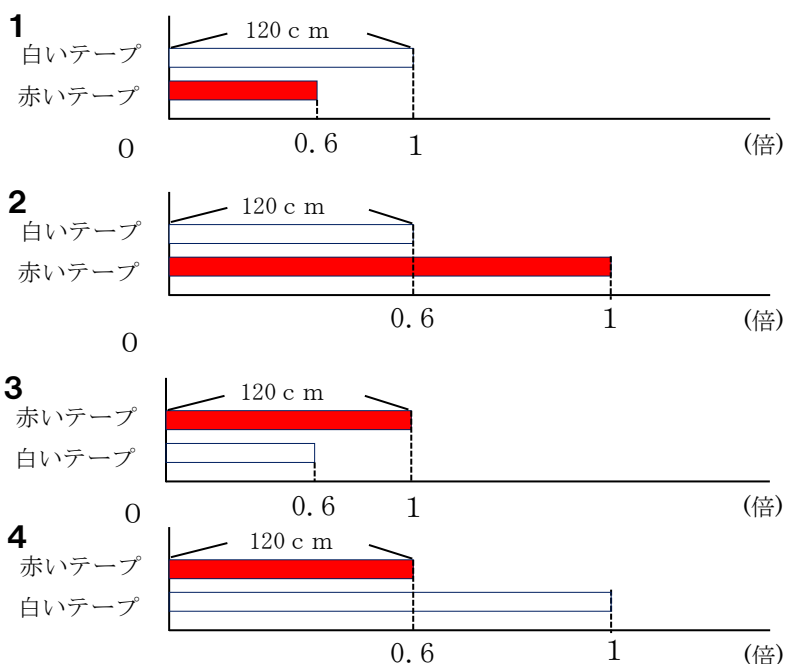
【5】 白いテープの長さは120cmです。

赤いテープの長さは、白いテープの長さの0.6倍です。このとき、次の各問いに答えましょう。

(1) 赤いテープと白いテープの長さの関係を正しく表している図はどれですか。右の図の1～4から1つえらんで番号を書きましょう。

(2) 赤いテープの長さを求める式を下のア～エから1つ選んで、その番号を書きましょう。

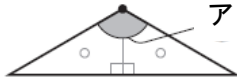
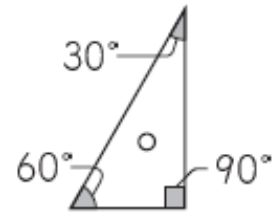
- ア $120 + 0.6$
- イ $120 - 0.6$
- ウ 120×0.6
- エ $120 \div 0.6$



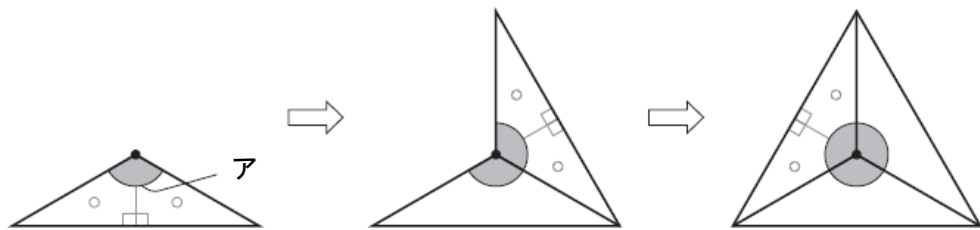
平成28年度 C調査問題 小学校5年算数

5年()組()番氏名()

【6】右のような 30° 60° 90° の角をもつ三角定規があります。
この三角定規を2枚使って、同じ長さの辺をあわせて、
次の二等辺三角形をつくりました。



そして、アの角が1つの点のまわりに集まるように、上の二等辺三角形を並べていくと、
3つで、正三角形ができました。



これは、 $360 \div 120 = 3$ で、商が3になり、わり切れるから、上の二等辺三角形が3つで正三角形をつくることができますといえます。


「 $360 \div 120$ 」は、どのようなことを計算している式ですか。言葉と数を使って書きましょう。
その際、「360」と「120」が何を表しているかがわかるようにして書きましょう。

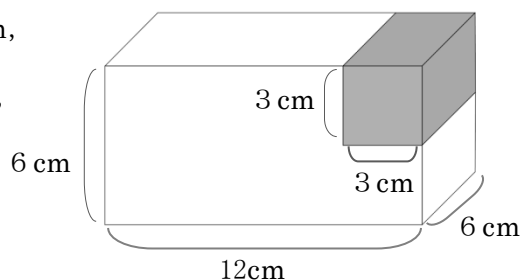
平成28年度 C調査問題 小学校5年算数


5年()組()番 氏名()


【7】右の図アのような、たてが6cm、横が12cm、高さ6cmの

図ア

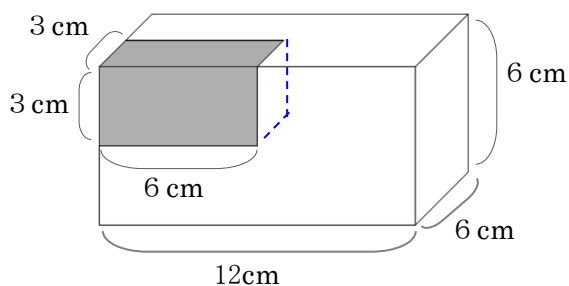
直方体のブロックがあります。この中に、たてが6cm、横が3cm、高さ3cmの直方体の  の部分があり、すきまなくぴったり組み合わせてあります。



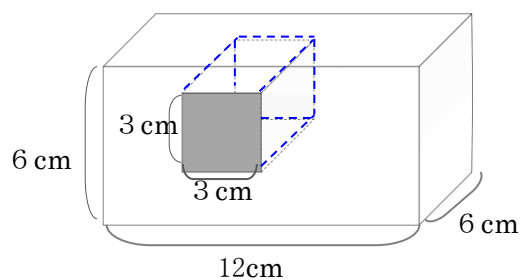
下の図イ、ウ、エは、たてが6cm、横が12cm、高さ6cmの直方体のブロックです。この中に、たてが6cm、横が3cm、高さ3cmの直方体の  の部分があり、すきまなくぴったり組み合わせてあります。

下の図イ、ウ、エの白い部分の体積は、図アの  の部分の体積と同じになります。なぜ体積が同じになるのですか。そのわけを、言葉や式や図を使って書きましょう。

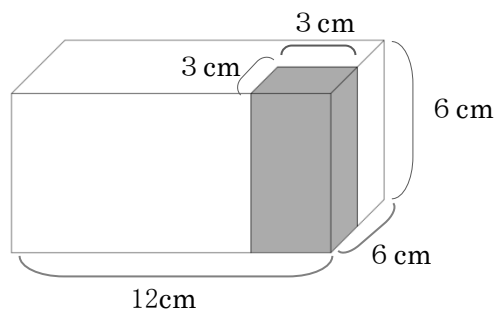
図イ



図ウ



図エ



解答用紙

平成 28 年度 C 調査問題 小学校 5 年算数

5 年 () 組 () 番 氏名 ()

【1】

(1)		(2)	
(3)		(4)	

正答数

問/12 問

【2】

ア		イ		ウ	
---	--	---	--	---	--

【3】

(1)		(2)	
-----	--	-----	--

【4】

	回
--	---

【5】

(1)	
(2)	

【6】

--

【7】

--

正答(例)

平成 28 年度 C 調査問題 小学校 5 年算数

5 年 () 組 () 番 氏名 ()

【1】

(1)	91.8	(2)	5.1
(3)	8	(4)	$\frac{12}{5} (2\frac{2}{5})$

【2】

ア	21	イ	3	ウ	3
---	----	---	---	---	---

3つできて正答

【3】

(1)	22500	(2)	正方形
-----	-------	-----	-----

【4】

4	回
---	---

【5】

(1)	1
(2)	ウ


【6】

360 は、1 回転した角の大きさを表しています。
 120 は、アの角の大きさを表しています。
 $360 \div 120$ は、 360° の角の中に、 120° の角がいくつ入るかを計算している式です。

- ① 360 が、1 回転した角の大きさを表していること
- ② 120 が、アの角の大きさを表していること
- ③ 被除数は除数の幾つ分かを計算している式であること

以上①②③の全てを書いていることが正答の条件

【7】

(例) 図アの  の部分は、 $6 \times 12 \times 6 - 6 \times 3 \times 3$ の式で求められ、 378 cm^3 です。図イ、ウ、エも、 $6 \times 12 \times 6 - 6 \times 3 \times 3$ の式で白い部分の体積を求めることができるから、同じ体積になります。

すべての白い部分が 378 cm^3 になることを書いてあれば正答。

式 $6 \times 12 \times 6 - 6 \times 3 \times 3$ のみを書いているだけでは、正答でない。

(例) 図ア、イ、ウ、エは、すべて $6 \times 12 \times 6 - 6 \times 3 \times 3$ の式で白い部分の体積を求めることができるから。

すべての図において、 $6 \times 12 \times 6 - 6 \times 3 \times 3$ の式で白い部分の体積が求められることが書いてあれば正答。

小学校5年算数【1】解説シート

◆出題の趣旨

次の計算をすることができるかどうかをみる。

- ・乗数が整数である場合の小数の乗法
- ・除数が整数で被除数が小数第1位までの除法
- ・四則の混合した計算や（ ）を用いた計算
- ・同分母分数の減法

◆学習指導要領との関連

第4学年 A 数と計算

(5) 小数とその加法及び減法についての理解を深めるとともに、小数の乗法及び除法の意味について理解し、それらを用いることができるようにする。

ウ 乗数や除数が整数である場合の小数の乗法及び除法の計算の仕方を考え、それらの計算ができること。

(6) 分数についての理解を深めるとともに、同分母の分数の加法及び減法の意味について理解し、それらを用いることができるようにする。

イ 同分母の分数の加法及び減法の計算の仕方を考え、それらの計算ができること。

第4学年 D 数量関係

(2) 数量の関係を表す式について理解し、式を用いることができるようにする。

ア 四則の混合した式や（ ）を用いた式について理解し、正しく計算すること。

◆解答類型

(1)

1◎	91.8 と解答しているもの	人	%
2	9.18 と解答しているもの		
3	918 と解答しているもの		
4	81.8 と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

(3)

1◎	8 と解答しているもの	人	%
2	17 と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

(2)

1◎	5.1 と解答しているもの	人	%
2	51 と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

(4)

1◎	$12/5$, $2\frac{2}{5}$ と解答しているもの	人	%
2	$7/5$ と解答しているもの		
3	$12/10$ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

具体的な場面と関連付けながら、数の仕組みや計算の意味に基づいて考えたり、計算の順序についてのきまりを理解したりして、正しく計算できるようにしましょう。

計算の指導においては、計算の仕方を形式的に伝えるのではなく、単位の考えを基にした数の仕組みや計算の意味に基づいて考えることが重要です。

計算のきまりを理解するために、例えば誤答を提示して、式のどの部分から計算するかによって、計算の結果が異なることを確認することが考えられます。

小学校5年算数【2】解説シート

◆出題の趣旨

除数と被除数に同じ数をかけて(小数)÷(小数)を(整数)÷(整数)に置き換えても、商は変わらないことを理解しているかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第4学年 A 数と計算

(3) 整数の除数についての理解を深め、その計算が確実にできるようにし、それを適切に用いる能力を伸ばす。

エ 除法に関して成り立つ性質を調べ、それを計算の仕方を考えたり計算の確かめをしたりすることに生かすこと。

第5学年 A 数と計算

(3) 小数の乗法及び除法の意味についての理解を深め、それらを用いることができるようにする。

イ 小数の乗法及び除法の計算の仕方を考え、それらの計算ができること。また、余りの大きさについて理解すること。

ウ 小数の乗法及び除法についても、整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解すること。

◆解答類型

		人	%
1◎	ア 21, イ 3, ウ 3 と解答しているもの		
2	ア 210, イ 30, ウ 30 と解答しているもの		
3	ア 0.21, イ 0.3, ウ 0.7 と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

小数の除法の計算においては、除法の性質の理解の上に立って、整数の除法の計算と同じように行うことができることが大切です。

整数の除法の計算において、除数及び被除数に同じ数をかけても、同じ数で割っても商は変わらないという除法の性質が成り立つことを確認した上で、小数の除法を整数の除法に置き換える活動を取り入れることが考えられます。

例えば、 $21 \div 7$ と $210 \div 70$ の計算結果が同じになることから、除法の性質が成り立つことを確かめ、それを基に、 $2.1 \div 0.7$ を $21 \div 7$ に置き換えて計算することができることを確認しましょう。

小学校5年算数【3】解説シート

◆出題の趣旨

- (1) 量の単位や測定の意味等について理解しているかどうかをみる。
- (2) 基本的な図形の定義や性質に基づいて、情報を整理し筋道を立てて考えられるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第4学年 B 量と測定

- (1) 面積について単位と測定の意味を理解し、面積を計算によって求めることができるようにする。
- ア 面積の単位 (cm^2 , m^2 , km^2) について知ること。

第4学年 [算数的活動] (1)

ウ 身の回りにあるものの面積を実際に測定する活動

第3学年 C 図形

- (1) 図形についての観察や構成などの活動を通して、図形を構成する要素に着目し、図形について理解できるようにする。
- ア 二等辺三角形、正三角形について知ること。

第4学年 C 図形

- (1) 図形についての観察や構成などの活動を通して、図形の構成要素及びそれらの位置関係に着目し、図形についての理解を深める。
- イ 平行四辺形、ひし形、台形について知ること。

第4学年 [算数的活動] (1)

エ 平行四辺形、ひし形、台形で平面を敷き詰めて、図形の性質を調べる活動

◆解答類型

(1)

1◎	22500 と解答しているもの	人	%
2	225 と解答しているもの		
3	2250 と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

(2)

1◎	正方形 と解答しているもの	人	%
2	ひし形 と解答しているもの		
3	長方形 と解答しているもの		
4	平行四辺形 と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

正方形の定義や性質を説明できるようにしましょう。また、長方形やひし形、平行四辺形、台形、直角三角形、二等辺三角形の定義等を説明できるようにしましょう。

◇図形を弁別するための根拠となる定義や性質を明確にして、それを説明する活動を充実するようにしましょう。また図形の構成の仕方や作図の仕方について、図形の特徴を根拠にしながら説明する活動を取り入れましょう。

ひし形を紙にかいて切り抜いて折ってみましょう。辺の長さが等しいか確認してみましょう。

ひし形を対角線で折ってみるとぴったり合うな。コンパスではかってみても、どの辺も長さが等しい。

切り抜いたひし形を2本の対角線で切ってみましょう。

4つの三角形ができるな。4つとも同じ形だ。できた三角形の辺の長さは違うけど、角度のひとつは 90° 、つまり直角だ。

直角三角形はどんな三角形かな？

内角のひとつが 90° である三角形です。

小学校5年算数【4】解説シート

◆出題の趣旨

伴って変わる二つの数量について、関係を表にまとめたり変化の規則性を読みとったりすることができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第4学年 D 数量関係

(1) 伴って変わる二つの数量の関係を表したり調べたりすることができるようにする。

ア 変化の様子を折れ線グラフを用いて表したり、変化の特徴を読み取ったりすること。

[算数的活動] (1)

オ 身の回りから、伴って変わる二つの数量を見付け、数量の関係を表やグラフを用いて表し、調べる活動

◆解答類型

1◎	4回 と解答しているもの	人	%
2	8回 と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

折る回数と長方形の数の組を小さい方から順に、確かめながら表に表しましょう。

表をもとに、折る数が1回増えるごとに、長方形の数がどのように増えるか、きまりを見つけましょう。

◇図を基に表をつくり、長方形の増え方に着目し、きまりをみつけることができるようにしましょう。

3回折ったときの表から、どんな増え方が予想されますか。

3回折った時は図から8個。2倍ずつ増えていきそうだから、4回折った時はその2倍の16個か・・・。

4回折ることは、3回折った状態から、どのように長方形を増やすことなのだろう。

3回折って長方形が8個できた状態から、それぞれの長方形を半分ずつにするのだから、4回折った時は8個をそれぞれ半分にした16個になる。

10回の際はどうか。
折る回数が何回になっても長方形の数を求めることができる式を作ることができるんじゃないか。考えてみよう。

1つ前の長方形の数に2をかけたら次の長方形の数になった。長方形の数は2を折った回数分かればよい。 $2 \times 2 \times 2 \cdots$ と2を10回分かけることによって求められる。すごい増えるんだな。

小学校5年算数【5】解説シート

◆出題の趣旨

図に示された数量関係から、比べる量ともとにする量の関係を図や演算に結び付けることができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第5学年 A 数と計算

(3) 小数の乗数及び除法の意味についての理解を深め、それらを用いることができるようにする。

ア 乗数や除数が整数である場合の計算の考え方を基にして、乗数や除数が小数である場合の乗法や除法の意味について理解すること。

◆解答類型

(1)

1◎	1と解答しているもの	人	%
2	2と解答しているもの		
3	3と解答しているもの		
4	4と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

(2)

1	アと解答しているもの	人	%
2	イと解答しているもの		
3◎	ウと解答しているもの		
4	エと解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

何倍（小数倍）という関係の事象で、何が「比べる量」で、何が「もとにする量」なのかとらえることができるように、図に表す活動を取り入れましょう。また、比較量を求めるために乗法（基準量）×（割合）が用いられることを、線分図を用いて説明する活動を取り入れましょう。

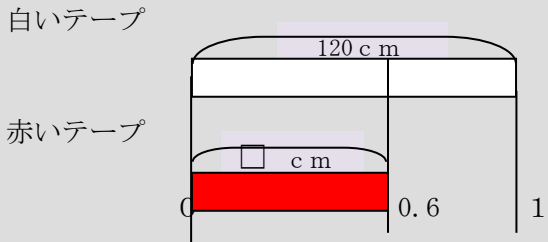
◇問題を提示する場面で、文章から分かることを図に表す活動を取り入れて、図から数量の関係をとらえるようにすることが大切です。

白いテープの長さは 120 cm です。赤いテープは、白いテープの長さの 0.6 倍です。

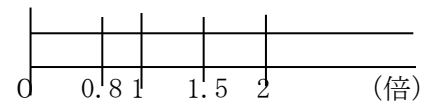
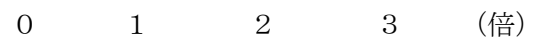
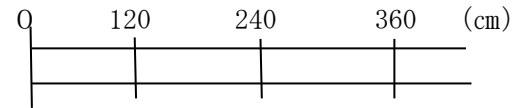
- ①例えば、この場面を下の図のようなテープ図に表して、数量の関係をとらえることが考えられます。
 ア. 「白いテープの長さは 120 cm」なので、白いテープに 120 cm とかく。



- イ. 「赤いテープは、白いテープの長さの 0.6 倍」なので、白いテープの長さがもとにする量となり、赤いテープが 0.6 倍となるようにかく。



- ②下の図のように、数直線を用いて、120 cm を 1 とした時に、 120×1.5 、 120×0.8 で求められることを説明する活動を取り入れることが考えられます。



小学校 5 年 算 数【 6 】解 説 シ ー ト

◆出題の趣旨

示された除数の式を並べてできた形と関連付け、各の大きさを基に、式の意味の説明を記述することができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第 3 学年 A 数と計算

(4) 除法の意味について理解し、それをを用いることができるようにする。

ア 除法が用いられる場合について知ること。また、余りについて知ること。

第 3 学年 C 図形

(1) 図形についての観察や構成などの活動を通して、図形を構成する要素に着目し、図形について理解できるようにする。

ア 二等辺三角形、正方形について知ること。

第 3 学年 D 数量関係

(1) 除法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすることができるようにする。

第 4 学年 B 量と測定

(2) 角の大きさについて単位と測定の意味を理解し、角の大きさの測定ができるようにする。

ア 角の大きさを回転の大きさとしてとらえること。

イ 角の大きさの単位 (度 $^{\circ}$) について知ること。

第5学年 C 図形

- (1) 図形についての観察や構成などの活動を通して、平面図形についての理解を深める。
 ア 多角形や正多角形について知ること。
 ウ 図形の性質を見だし、それを用いて図形を調べたり構成したりすること。

◆解答類型

(正答の条件) 次の①, ②, ③のすべてを書いている。 ① 360 が, 1 回転した角の大きさを表していること ② 120 が, アの角の大きさを表していること ③ 被除数は除数の幾つ分かを計算している式であること			
1◎	①, ②, ③のすべてを書いているもの	人	%
2	①, ③を書いているもの		
3	②, ③を書いているもの		
4	③を書いているもの		
5	①, ②を書いているもの		
6	①を書いているもの		
7	②を書いているもの		
8	被除数を除数で等分している式であることを記述しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

言葉や数, 式, 図, 表, グラフなどを用いて, 筋道を立てて説明したり論理的に考えたりして, 自ら納得したり他者を説得したりできることが大切です。

図や式などを用いて問題を解決し, 児童が互いに図や式の意味を解釈し説明し合う活動を設けましょう。

例えば, 四角形の四つの角の大きさの和が 360° になることを考える場面において, 180×2 や $180 \times 4 - 360$ などと表現された式の意味について図に表しながら解釈し説明し合う活動が考えられます。その際, 「なぜ 360 をひくのですか」と問い返すなどして, 式の意味について過不足なく説明できているかどうかを児童同士が確認できるようにしましょう。

小学校5年算数【7】解説シート

◆出題の趣旨

示された複数の図形の中で、面積や体積が等しいことなど事柄が成り立つ理由を言葉や式や図を用いて説明することができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第5学年 B 量と測定

(2) 体積について単位と測定の意味を理解し、体積を計算によって求めることができるようにする。

イ 立方体及び直方体の体積の求め方を考えること。

◆解答類型

(正答の条件) 次の①, ②, ③, ④のすべてを書いている。

- ①全体の体積 (縦6 cm, 横12 cm, 高さ6 cmの直方体の体積)
- ②部分の体積 (縦6 cm, 横3 cm, 高さ3 cmの直方体の体積)
- ③白い部分の体積がひき算で求められること
- ④すべての図について同じであることを表す言葉

1◎	①, ②, ③を「 $6 \times 12 \times 6 - 6 \times 3 \times 3$ 」の式を用いて表し, ④を書いているもの	人	%
2◎	①, ②, ③, ④のすべてを書いているもの		
3○	①, ②, ④を書いているもの		
4○	②, ③, ④を書いているもの		
5○	②, ④を書いているもの		
6○	すべての白い部分の体積が 378 cm^3 になることを書いているもの		
7	「 $6 \times 12 \times 6 - 6 \times 3 \times 3$ 」の式のみを書いているもの		
8	①, ③, ④を書いているもの ①, ④を書いているもの ③, ④を書いているもの ④を書いているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答 ○設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答(準正答)

◆学習指導にあたって

一度書いた説明を、見直してみる活動を授業の中に取り入れましょう。どんなことが書かれていれば正答になるのかを確かめ、書き直してみよう。

◇条件不足の解答をもとに、どんなことを書くと、正しい説明になるのかを話し合おう。また、書かれた説明を評価改善する大切さを実感できるように指導を工夫しよう。

「 $6 \times 12 \times 6 - 6 \times 3 \times 3$ 」と言えば体積が同じことが分かるかな。

説明したいことは分かるけど、その式が何を表すかを言わないと分からないよ。

全体の体積(解答の条件①)とひき算で求められること(解答の条件③)と、どの体積も同じ(解答の条件④)を言えばいいかな。

部分の体積を言わないと、何をひくか分からないよ。

全体の体積(解答の条件①)とどの体積も同じ(解答の条件④)を言えばいいかな。

部分の体積をひくことを言わないと分からないよ。

小学校5年算数 P調査問題・全国学力・学習状況調査とのつながり

算数のC調査問題は、4月に実施したP調査問題の結果や全国学力・学習状況調査の早期採点の結果から明らかになった各校の課題が、2学期までの授業でどのくらい改善できているかを確認できるように作成してあります。

下記のようにP調査問題や全国学力・学習状況調査問題と関連付けてありますので、自校の取組の成果と課題改善のためにご活用ください。

C調査 問題番号	平成28年度P調査問題・平成28年度全国学力・学習状況調査問題との関連
【1】	P調査問題 【1】
【2】	全国学力・学習状況調査 算数A 1 (2)
【3】	P調査問題 【3】
【4】	P調査問題 【4】
【5】	P調査問題 【5】
【6】	全国学力・学習状況調査 算数B 5 (1)
【7】	P調査問題 【7】

平成二十八年年度 C調査問題 小学校六年 国語

六年（ ）組（ ）番 氏名（ ）

正答数

問/10問

※答えは全て、解答用紙に書きましょう。

1 中沢さんは、りんご作りについて調べたところ、もっと知りたいことが出てきたので、りんご農家の佐藤さんにインタビューすることにしました。次は、中沢さんの【事前に準備したインタビューメモ】と【インタビューの一部】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【事前に準備したインタビューメモ】

〈もっと知りたいこと〉

気候にあつたりんご作りはどのように行われているのだろうか。

〈りんご農家について調べたこと〉

・りんご栽培の作業は、一年中続いていて、たくさんの手間をかけて作られている。

・りんご作りは、ずずしい気候が適している。

〈必ず聞くこと〉

収かくが九月から十一月に行われているが、夏にりんごを売っているのはなぜか。

（予想）はやい時期に収かくできりんごもある。

〈必要に応じて聞くこと〉

りんご作りで一番いい時期はいつか。

りんご作りで大変なことは何か。

この地域のりんごの特ちょうは何か。

今年のりんごの出来はどうか。

【インタビューの一部】

中沢さん

りんご作りは、一年中続いていて、収かくは、九月から十一月にかけて行われていると聞いたのですが、夏にりんごを売っているのを見かけました。夏にりんごが売られているのはどうしてですか。もともとりんごは秋から冬にかけての果物ですが、なかには、夏に収かくできるものもあります。ただ、今わたしたちの農園では、一年中りんごを出荷できます。保存の技術が進歩し、冷蔵庫で長期保存することができるようになったので、品質の低下をおさえられるようになりました。だから、お店に夏にもりんごが並ぶようになったのです。

中沢さん

前の年に収かくされたりんごを翌年まで保存できるということなのですか。保存できるのは、特別な冷蔵庫なのですか。

佐藤さん

冷蔵庫の内部の温度と空気をコントロールして、鮮度が保たれるように保存できる冷蔵庫です。翌年の七月でもとれたての鮮度に近いものが食べられます。

中沢さん

ほぼ一年中おいしいりんごが食べられるということですね。ところで、りんご作りは収かくするまで一年かかると聞きましたが、大変なことは何ですか。

佐藤さん

一つ一つ手をかけて大事に育てていますが、収かくの時期に台風や強風があると収かくが少なくなってしまうです。

中沢さん

収かくの時期は、気をつかいますね。りんご作りはずずしい気候が適していると本に書いてありましたが、どうしてずずしい気候が適しているのですか。

佐藤さん

ずずしい気候だけでなく、ほかにも降水量が少なめであること、昼夜の温度差が大きいことなどの条件がそろった地域で糖度の高い、おいしいりんごができます。

中沢さん

（インタビューが続く）

一 中沢さんの【事前に準備したインタビューメモ】は、どのようにふうされていますか。その説明として当てはまらないものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 あらかじめ複数の質問を考え、話の展開てんかひに応じて質問を選ぶことができるようにしている。
- 2 質問に対する答えを予想し、相手の答えに応じた質問をすることができるようにしている。
- 3 話の展開にとらわれず、メモに書いた全ての質問をすることができるようにしている。
- 4 事前に調べたことから質問を考え、関連した情報を得ることができるようにしている。

二 【インタビューの一部】の では、中沢さんは、どのような意図で質問をしていますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 佐藤さんの発言を受けて、予想が正しいことを確認かくにんする質問をしようとしている。
- 2 佐藤さんの発言を受けて、予想を自分の言葉で言いかえて質問をしようとしている。
- 3 佐藤さんの発言を受けて、メモの内容に沿った質問せつもんをしようとしている。
- 4 佐藤さんの発言を受けて、予想とのちがいを考えて新たな質問をしようとしている。

三 「昼夜の温度差が大きい」の文は、次の【文の型】のA・I・Uのどの型に当たりますか。適切なものをA～Uから一つ選んで、その記号を書きましょう。

【文の型】

ア 「何は(が)「」「何だ」
イ 「何は(が)「」「どうした」
ウ 「何は(が)「」「どんなだ」

四 中沢さんは、【インタビューの一部】の の中で、質問をしています。どのような質問をしたと考えられますか。次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

- 【事前に準備したインタビューメモ】の内容を使って質問をすること。
- 【インタビューの一部】の「佐藤さん」の発言を受けて質問をすること。
- 三十字以上、五十文字以内の一文にまとめて書くこと。

※解答用紙の◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

2 六年一組の高野さんの学級では、健康な生活のために「早ね早起き朝ごはん」運動に取り組んでいます。高野さんは、これまでの活動の結果を報告文にまとめ、学級のみんなに伝えることにしました。次は、高野さんが書いている【報告文の一部】です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

○「早ね早起き」活動のまとめ

1 成果

アンケート調査の結果、これまでの半年間の活動が成果を上げていることが分かりました。

〈図1〉のように、活動を始める前の五月の時点では、「次の日に学校がある日」に夜十時を過ぎても起きている人の割合が全国平均を上回り、早ねができていたとはいえませんでした。それが半年間の活動後には、夜十時までにねる人の割合が、

A

その理由として、〈表1〉から、「成長に大事なすいみんを十分にとるために、夜十時までにはねましよう。」という保健室の先生のお話みんなの心に残ったのだと考えます。他にも、毎日体を動かすように、体育がない日にクラスで外遊びを行う活動や、「健康せんげんカード」に早ね早起きできたかを記録する活動を行ったこともあげられます。

2 課題

成果があった一方、生活のリズムを保つという点で、今回の活動では改善できず、これから解決していきたい課題があることが分かりました。

課題は、〈図2〉から分かるように、

B

この課題を解決するためには、テレビやゲームの時間、メールなどをする時間、そして「健康せんげんカード」の記録方法について考える必要があることが〈表2〉から分かります。

3 解決方法

そこで、わたしたちは多くの人が取り組める次のような解決方法を考えました。

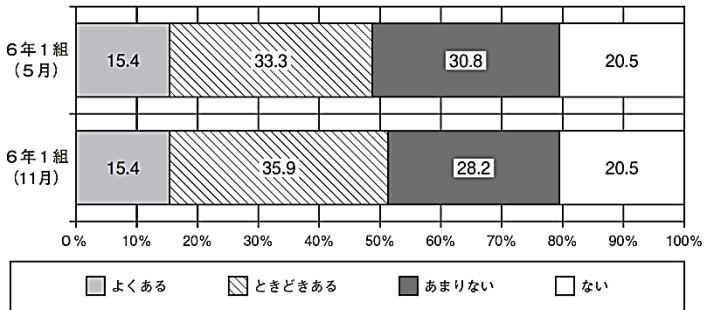
C

- ・休みの日にも「健康せんげんカード」に記録をつけるようにする。
- ・今後は、これらの解決方法に取り組んでいきたいと思えます。

○「朝ごはん」活動について
(報告文が続く)

〈図2〉

次の日に学校がない日は、学校がある日に比べて、ねる時刻が2時間以上おそくなることはありますか。



〈表2〉

ねる時刻が2時間以上おそくなる理由は何ですか。(いくつ答えてもかまいません。)(6年1組 11月)

夜おそくまでテレビを見たり、ゲームをしたりしているから。	20人
夜おそくまで友達とメールなどをしているから。	14人
休みの日は「健康せんげんカード」に記録しなくてもいいから。	10人
家族のみんなも起きているから。	4人
その他	7人

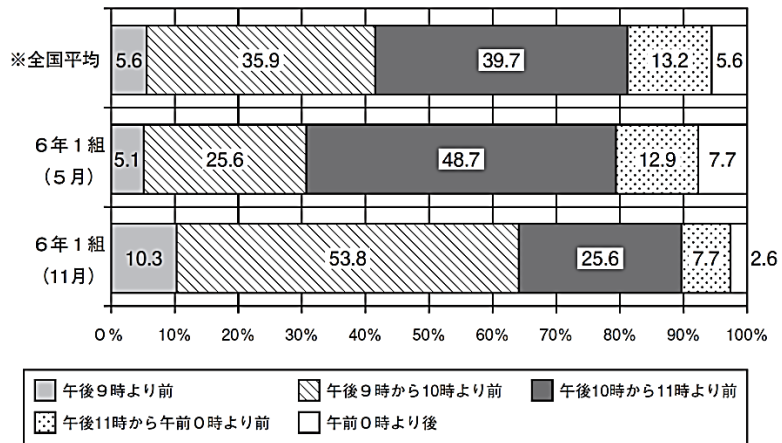
〈表1〉

早ねをするようになった理由は何ですか。(いくつ答えてもかまいません。)(6年1組 11月)

保健室の先生のお話から、すいみんが成長に大事だと分かったから。	23人
毎日体を動かしたら、早くねられるようになったから。	14人
「健康せんげんカード」に記録するから。	9人
早ねを毎日続けるようにしたら習慣になったから。	8人
早ねをしたら授業に集中できるようになったから。	5人
その他	11人

〈図1〉

次の日に学校がある日は、ふだん何時ごろにねますか。



(※全国平均は、文部科学省「平成26年度家庭教育の総合的推進に関する調査研究—睡眠を中心とした生活習慣と子供の自立等との関係性に関する調査—」に基づく。)

一 高野さんは、「1 成果」について〈図1〉を用いて書くようとしています。Aの中に入る内容として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 五月の結果を下回り、三十パーセント程度になりました
- 2 五月の結果より減り、四十パーセント以下になりました
- 3 五月の結果より増え、六十パーセントをこえました
- 4 五月の結果を上回り、十パーセント程度になりました

二 高野さんは、「1 成果」では、どのようなくふうをして書いていますか。その説明として当てはまらないものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 読み手に自分のこととしてとらえてもらうために、疑問を投げかけている。
- 2 資料と文章を対応させて書いている。
- 3 資料から分かることと自分が考えたことを書いている。
- 4 複数の資料を結び付けて自分の考えを書いている。

三 ^{*}「保健室の先生のお話がみんなの心に残ったのだ」の主語として、適切なものを、アからカまでの中から一つ選んで、その記号を書きましょう。

ア 保健室の
イ 先生の
ウ お話が
エ みんなの
オ 心に
カ 残ったのだ

四 高野さんは、「2 課題」と「3 解決方法」について書くようとしています。次の(1)と(2)の問いに答えましょう。

(1) 高野さんは、「2 課題」について〈図2〉を用いて書くようとしています。Bの中に入る内容を、次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

○ 〈図2〉の結果から考えて書くこと。

○ 書き出しの言葉に続けて、四十字以上、六十字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は、字数にはふくまない。

※解答用紙の◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

(2) 高野さんは、「2 課題」を受け、多くの人が取り組めることを考えて「3 解決方法」を書くようとしています。Cの中に入る内容を、次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

○ 〈表2〉の結果から考えて書くこと。

○ 「テレビやゲーム」「メールなど」の両方の言葉を使って書くこと。

○ 二十五字以上、五十字以内にまとめて書くこと。

※解答用紙の◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

五 高野さんは、「早ね早起き」活動のまとめの中で、「1 成果」だけではなく、「2 課題」も取り上げて書きました。課題を取り上げた効果の説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 活動に取り組むよさが明らかになり、それを多くの人に広めることができる。
- 2 問題点を解決しながら、さらに成果が上がる活動につながるができる。
- 3 この活動に取り組み始めるようになった、最初のきっかけに気づくことができる。
- 4 成果が強調されて、この活動の必要性をより強く感じるができる。

平成二十八年年度 C 調査問題 小学校六年国語 解答用紙

六年（ ）組（ ）番 氏名（ ）

正答数

問／10問

2

三	二	一
---	---	---

四			
			◆
			◆
			◆
			◆
			◆
			◆
			◆
			◆
			◆
			◆
			◆
			◆
			◆
			◆
			◆
			◆
			◆
			◆
			◆
			◆
			◆
			◆
			◆
			◆
			◆
			◆
			◆
50			
			30

三	二	一
---	---	---

1

五	四						
	(2)			(1)			
	◆			◆			課題はへ図2へから分かるように、
	◆			◆			
	◆			◆			
	◆			◆			
	◆			◆			
	◆			◆			
	◆			◆			
	◆			◆			
	◆			◆			
	◆			◆			
	◆			◆			
	◆			◆			
	◆			◆			
	◆			◆			
50			25		40		60

六年（ ）組（ ）番 氏名（ ）

正答例

正答数

問/10問

1			
二	4		
三	ウ		
四 正答例			
。	今	ん	条
	年	ご	件
	の	が	が
	り	で	そ
	ん	き	ろ
50	ご	る	っ
	の	と	た
	出	い	地
	来	う	域
	は	こ	で
	ど	と	お
	う	で	い
	で	す	し
	す	が	い
	か	、	り
30			

2		
二	1	
三	ウ	
一	3	

四							
(2) 正答例				(1) 正答例			
五	ル	に	ね	減	時	あ	次
2	な	、	る	っ	間	る	の
	ど	テ	時	て	以	日	日
	を	レ	こ	い	上	に	に
	す	ビ	く	な	お	比	学
50	る	や	が	い	そ	べ	校
	時	ゲ	お	こ	く	て	が
	間	ー	そ	と	な	、	な
	を	ム	く	で	る	ね	い
	決	の ₂₅	な	す	人 ₄₀	る	日
	め	時	ら	。	の	時	は
	る	間	な		わ	こ	、
	。	、	い		り	く	学
		メ	よ		合	が	校
		ー	う		が	二	が
課題はへ図2へから分かるように、							
60							

六年（ ）組（ ）番 氏名（ ）

一 「事前に準備したインタビューメモ」は、「へりん」農家について調べたことへ必ず聞くことへ必要に応じて聞くこと」という構成になっています。へ必要に応じて聞くことでは、複数の質問を考え、話の展開によって、質問を取捨選択することができるようになっています。

二 中沢さんは、まず、「夏にりんごが売られているのはどうしてですか」と質問しています。その理由として「はやい時期に収穫できるりんごがある」と考えていましたが、ここでは、「前の年に収穫されたりんご」であることを受けて、保存できる冷蔵庫についてたずねようとしています。このことから予想のちがいを考えて新たな質問をしようとしています。

三 「昼夜の温度差が大きい」の文の述語「大きい」は形容詞なので、「どんなだ」にあたります。

四 インタビューの展開にそって、「事前に準備したインタビューメモ」をもとに質問を考える必要があります。もとにするメモとしては、「今年のリんごの出来はどうか」などが考えられます。また、直前の佐藤さんの発言を受けて質問をする必要があります。これらを受けて書きましょう。

○ 条件がそろった地域でおいしいうりんごができるということですが、この地域のりんごの特ちょうはなんですか。（五十文字）

× 条件がそろった地域でおいしいうりんごができるということですが、どんなりんごの種類がありますか。（四十七文字）
↓「事前に準備したインタビューメモ」の内容を使っています。

1
3

ウ	4	3
---	---	---

ウ	4	3
条件がそろった地域でおいしいうりんごの出来はどうか	今年のリんごの出来はどうか	りんごがで

2
3

ウ	1	3
---	---	---

課題はへ図2へから分かるように、

次	あ	時	減	ね	に	ル
の	る	間	っ	る	、	な
日	日	以	て	時	テ	ど
に	に	上	い	こ	レ	を
学	比	お	な	く	ビ	す
校	べ	そ	い	が	や	る
が	て	く	こ	お	ゲ	時
な	、	な	と	そ	ー	間
い	ね	る	で	く	ム	を
日	る	人	す	な	の	決
は	時	の	。	ら	時	め
、	こ	わ		な	間	る
学	く	り		い	、	。
校	が	合		よ	メ	
が	二	が		う	ー	

2
一 選択肢3は、十一月の結果における「午後九時より前」と「午後九時から十時より前」のそれぞれの割合の数値をたしたものとなっていて、これは五月の結果より増えています。

二 「1 成果」では、前半では、へ図1へについて後半では、へ表1へについて書いています。また二つの資料を結び付けて自分の考えを書いたり、「保健室の先生のお話がみんなの心に残ったのだと考えます」と自分の考えを書いたりするふうが見られます。

三 「何がどうした」という構成です。「何が」にあたる言葉を主語と考えましょう。

四(1) 「2 課題」の「今回の活動では改善できず、これから解決していきたい課題」という本文の内容を受け、へ図2への活動前(五月)の状況と、活動後(十一月)の結果を比べて、課題が何かをとらえる必要があります。

(2)へ表2への結果と、「2 課題」における、「テレビやゲームの時間、メールなどをする時間について考える必要がある」という内容に着目して、「テレビやゲーム」「メールなど」という二つの言葉を使って、指定された字数で書きましょう。

五 この活動報告文が「これまでの活動の結果を報告文にまとめ、学級の人々に伝える」という目的で書かれていることをふまえて、高野さんは、課題を書くことで、さらに成果が上がる活動を行ってほしいと考えています。

正答数
問/10問

小学校6年国語 1 解説シート

◆出題の趣旨

インタビューメモを基に、話し手の意図を捉えながら聞いたり、話の展開に沿って質問したりすることができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

〔第5学年及び第6学年〕 A 話すこと・聞くこと

エ 話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめること。

〔第5学年及び第6学年〕 B 書くこと

ウ 事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。

◆解答類型

人 %

		人	%
1	一	1◎ 3と解答しているもの	
		9 上記以外の解答	
		0 無解答	
	二	1◎ 4と解答しているもの	
		9 上記以外の解答	
		0 無解答	
	三	1◎ ウと解答しているもの	
		9 上記以外の解答	
		0 無解答	
四	(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 【事前に準備したインタビューメモ】の内容を使って質問をしている。 ② 「◇佐藤さん」の発言を受けて書いている。 ③ 30字以上、50字以内の一文にまとめて書いている。		
	1◎	条件②、③を満たしているもののうち、条件①について、【事前に準備したインタビューメモ】にある「今年のリんごの出来はどうか」という内容について書いているもの (正答例)条件がそろった地域でおいしいりんごができるということですが、今年のリんごの出来はどうですか。(46字)	
	2◎	条件②、③を満たしているもののうち、条件①について、【事前に準備したインタビューメモ】にある「この地域のリんごの特ちょうは何か」という内容について書いているもの (正答例)条件がそろった地域でおいしいりんごができるということですが、この地域のリんごの特ちょうは何ですか。(49字)	
	3	条件①について、【事前に準備したインタビューメモ】にある「今年のリんごの出来はどうか」という内容について書いているが、条件②は満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。 (例)今年のリんごの出来はどうですか。(16字)	
	4	条件②を満たしているが、条件①は満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。 (例)条件がそろった地域でおいしいりんごができるということですが、どなりんごの種類がありますか。(46字)	
	5	条件①、②は満たしているが、条件③は満たしていないもの (例)条件がそろった地域でおいしいりんごができるのですね。今年のリんごの出来はどうですか。(42字) →一文ではない。	

	9	上記以外の解答		
	0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

○ 質問したいことを整理し、インタビューメモを作成する

インタビューを行う場合、事前にインタビューメモを作成するなど、調査等の目的に応じて質問したいことを整理しておくことが大切である。質問を整理することで、何を聞きたいのかがはっきりし、全体を見通すことができるので、知りたいことを落とさないようにしながら相手の話を聞くことができる。

インタビューメモを作成するには、調査等の目的をはっきりさせ、これまでに分かっていることを基にして、質問の具体的な内容や順序などを考えていく必要がある。その際、質問に対する答えを予想して、相手の答えに応じた質問ができるようにすることも重要である。そのために、質問事項をチャートにすることで、質問を構造化して軽重を付けたり、相手の話に応じて選べるようにしたりすることが考えられる。また、付箋紙を活用して必要に応じて質問の順序を変えられるようにしたり、取捨選択できるようにしたりすることも考えられる。

○ 相手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って質問する

インタビューは、メモを見ながら、想定したとおりに質問を進めていくだけでよいわけではない。インタビューメモを基にしながらも、実際の話の展開に応じて質問する必要がある。

そのためには、インタビューの目的に応じて、相手の意図は何か、自分の予想との違いは何か、自分の考えとの共通点や相違点は何かなどを観点として、相手の話を注意深く聞くことができるように指導することが大切である。その際、相手の話に同意した上で質問したり、相手の話を言い換えてから質問したり、話題を変えて質問したりするなどの質問の仕方を取り上げて指導することが考えられる。

(参照)

「平成 28 年度【小学校】解説資料」P. 42

「4 年間のまとめ【小学校編】」P. 14

小学校 6 年国語 2 解説シート

◆出題の趣旨

目的や意図に応じて、グラフや表を用いて、自分の考えが伝わるように工夫して活動を報告する文章を書くことができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

〔第 5 学年及び第 6 学年〕 B 書くこと

エ 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書くこと。

〔第 5 学年及び第 6 学年〕 B 書くこと

イ 自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えること。

◆解答類型

人 %

2	一	1◎	3と解答しているもの			
		9	上記以外の解答			
		0	無解答			
	二	1◎	1と解答しているもの			
		9	上記以外の解答			
		0	無解答			
	三	1◎	ウと解答しているもの			
		9	上記以外の解答			
		0	無解答			
	四 (1)		(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 〈図2〉の結果から考えられることを書いている。 ② 書き出しの言葉に続けて、40字以上、60字以内で書いている。 (正答例)次の日に学校がない日は、学校がある日に比べて、ねる時こくが二時間以上おそくなる人のわり合が減っていないことです。(56字)			
		1◎	条件①、②を満たしているもの			
		2	条件①は満たしているが、条件②は満たしていないもの			
9		上記以外の解答				
0		無解答				
四 (2)		(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 〈表2〉の結果から考えられることを書いている。 ② 「テレビやゲーム」と「メールなど」の両方の言葉を使って書いている。 ③ 25字以上、50字以内で書いている。 (正答例)ねる時こくがおそくならないように、テレビやゲームの時間、メールなどをする時間を決める。(43字)				
	1◎	条件①、②、③を満たしているもの				
	2	条件①、②は満たしているが、条件③は満たしていないもの				
	3	条件①は満たしているが、条件②は満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。 (例1)テレビやゲームの時間を決めて、夜おそくまで起きていないようにする。(33字)→二つの言葉のうち一方を使っていない。 (例2)ねる時こくがおそくならないように、時間を考えて行動する。(28字)→どちらの言葉も使っていない。				
	4	条件②は満たしているが、条件①は満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。 (例)テレビやゲーム、メールなどをしたあとは、体を動かすようにする。(31字)→〈表2〉の結果から考えられることを書いていない。				
	9	上記以外の解答				
	0	無解答				
五	1◎	2と解答しているもの				
	9	上記以外の解答				
	0	無解答				

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

○ 図表やグラフから分かったことを書く

図表やグラフなどを読み、分かったことを的確に書くには、情報を正しく読み取り、必要な情報について適切な言葉を用いて記述することが重要である。そのためには、社会科や算数科等で学習した図表やグラフの読み方を確認し、読み取ったことを的確に表現することができるように指導していくことが大切である。

具体的には、一つのグラフを取り上げて全体的な特徴や変化の特徴を捉える学習、複数の図表やグラフを比較したり関係付けたりする学習などを通して、図表やグラフの読み方を理解することができるように指導することが考えられる。

さらに、読み取った情報を相手に分かりやすく伝えるための言葉を選択することも重要である。例えば、必要な数値 60%以下・12人以上) を使って説明する場合、概略を示す言葉(おおよそ、大抵が) を使って説明する場合、比較を示す言葉(上回る・下回る) を使って説明する場合などがある。これらの表現の内容の違いや効果を比べ、目的に応じて使い分けることができるように指導することが大切である。

○ 目的や意図に応じ、図表やグラフを用いて、自分の考えを書く

図表やグラフを用いて自分の考えを書く際には、図表やグラフなどから目的に応じて必要な情報を取り出し、比較したり関係付けたりしながら自分の考えを明確にすることが重要である。

具体的には、観察したり、実験したり、調査等を行ったりして得られた結果などの事実を図表やグラフで示し、自分がどのように読み取って分析したのか、そこからどのような考えをもったのかを具体的に記述するような学習が重要である。その際、図表やグラフの何に着目するのか、図表やグラフの中にあるどの数値や言葉を使って書くことが効果的であるのかを検討する必要がある。また、用いた図表やグラフとその分析内容が、自分の考えを明確に伝えるための根拠となっているかを確かめていくことも大切である。

○ 目的や意図に応じ、構成の効果を考えて書く

活動報告文では、報告する相手や目的に応じて、文章全体の内容や構成を工夫することが重要である。そのためには、目的や意図を踏まえ、自分の考え及び相手の理解が明確になるように、自分が伝えたい内容と構成の効果を考えることができるように指導することが大切である。

具体的には、活動報告文の構成として「活動の目的」、「活動の内容」、「活動の成果」、「活動の課題」、「活動を振り返って考えたこと」などが挙げられる。報告する相手や目的に応じて、記述内容や用いる資料を考えながら文章全体の構成を決めていくことが必要である。その際、自分の考え及び相手の理解が明確となるように文章を構成することが大切である。

(参照)

「平成 28 年度【小学校】解説資料」P. 51

「言語活動事例集【小学校版】」P. 41～42, P. 61～P. 62

小学校6年国語「全国学力・学習状況調査」とのつながり

国語のC調査問題は、4月に実施した全国学力・学習状況調査の早期採点の結果から明らかになった各校の課題が、2学期までの授業でどのくらい改善できているかを確認できるように作成してあります。

下記のように全国学力・学習状況調査問題と関連付けてありますので、自校の取組の成果と課題改善のためにご活用ください。

C調査 問題番号	「平成28年度 全国学力・学習状況調査問題」との関連
1	全国学力・学習状況調査 国語B 1
2	全国学力・学習状況調査 国語B 2

平成28年度 C調査問題 小学校6年算数

6年()組()番 氏名()

(答えはすべて解答用紙にかきましよう)

【1】 次の計算をしましよう。

(1) $\frac{2}{5} \times 0.6$

(2) $3 \div \frac{5}{6}$

(3) $2\frac{1}{2} \div 3\frac{1}{3}$

【2】 $\square \div 0.8$ の商の大きさについて考えます。□には0でない数が入ります。

下の1から3までの中から、正しいものを1つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 $\square \div 0.8$ の商は、□より大きくなる。
- 2 $\square \div 0.8$ の商は、□より小さくなる。
- 3 $\square \div 0.8$ の商は、□と同じになる。

【3】 $4.2 \div 0.6$ を「わられる数とわる数に同じ数をかけても商は変わらない」というわり算の性質を使って、次のように計算します。

4.2	\div	0.6	$=$	$\textcircled{ア}$
↓		↓		
10 をかける		10 をかける		
$\textcircled{イ}$	\div	6	$=$	$\textcircled{イ}$

$\textcircled{ア}$ 、 $\textcircled{イ}$ 、 $\textcircled{ウ}$ に入れる数が正しいものを、下の①から④の中から一つ選び、その番号を書きましよう。

- | | | | |
|---|---------------------|--------------------|-----------------------|
| ① | $\textcircled{ア}42$ | $\textcircled{イ}7$ | $\textcircled{ウ}7$ |
| ② | $\textcircled{ア}42$ | $\textcircled{イ}7$ | $\textcircled{ウ}0.7$ |
| ③ | $\textcircled{ア}42$ | $\textcircled{イ}7$ | $\textcircled{ウ}0.07$ |
| ④ | $\textcircled{ア}42$ | $\textcircled{イ}7$ | $\textcircled{ウ}700$ |

【4】 A、B 2つのびんにジュースを入れます。

AとBの量の比を2：3になるようにします。

Aを250mLにすると、Bは何mLにすればよいか答えましよう。

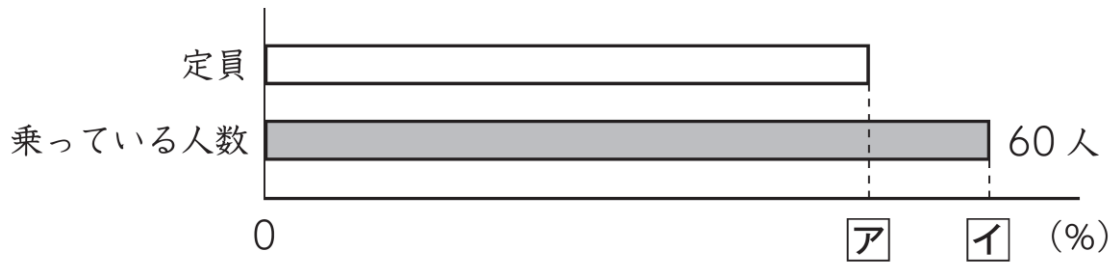
平成28年度 C調査問題 小学校6年算数

6年()組()番 氏名()

(答えはすべて解答用紙にかきましょう)

【5】 バスに乗っている人数は60人です。乗っている人数は、定員よりも定員の20%分多いそうです。

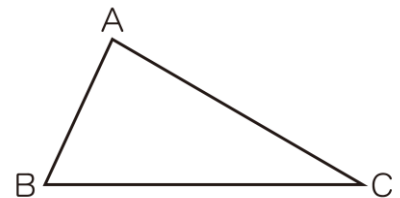
定員をもとにしたときの乗っている人の人数の割合を、百分率を使った次の図に表します。



図の中の「ア」と「イ」には、下の4つの数のいずれかが入ります。「ア」と「イ」に入る数をそれぞれ書きましょう。

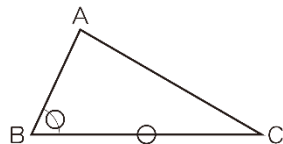
20	80	100	120
----	----	-----	-----

【6】 右の三角形ABCと合同な三角形をかくために、三角形ABCのどの辺の長さや角の大きさを測ればよいかを考えます。

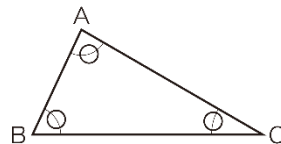


次の1から4は、辺の長さや角の大きさを測るところに○の印をつけたものです。三角形ABCと合同な三角形をかくことができるものを1つ選んで、その番号を書きましょう。

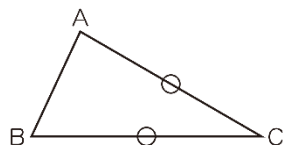
1



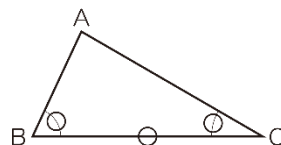
2



3



4



平成28年度 C調査問題 小学校6年算数

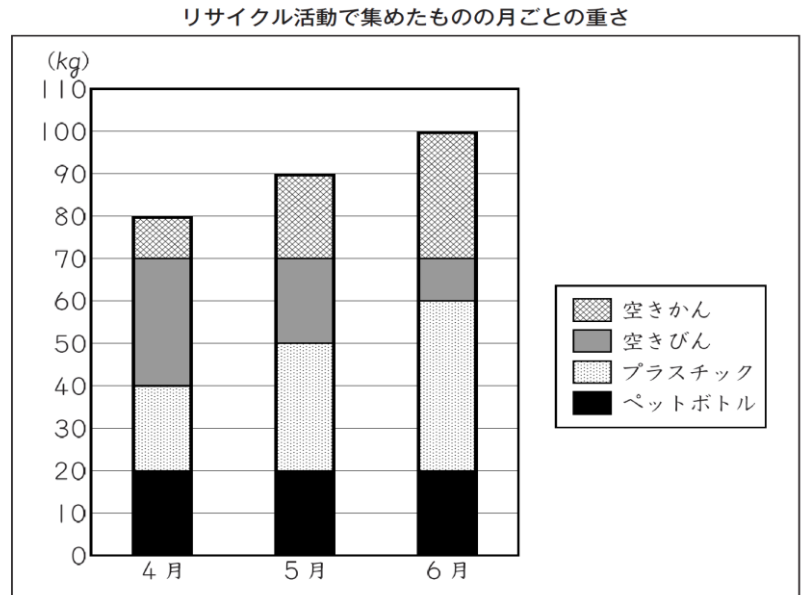
6年()組()番 氏名()

(答えはすべて解答用紙にかきましょう)

【7】 あかねさんの学校では、リサイクル活動を行っています。

あかねさんたちは、4月、5月、6月のリサイクル活動で集めたものの重さを、右のようにグラフにまとめました。

(1) 4月に集めたペットボトルの重さは、約何kgですか。答えを書きましょう。



(2) グラフを見ると、4から6月までの、それぞれの月に集めた空きびんの重さの変化について、どのようなことがわかりますか。

下の1から3までの中から正しいものを1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 空きびんの重さは、だんだん減っている。
- 2 空きびんの重さは、変化していない。
- 3 空きびんの重さは、だんだん増えている。

(3) 4月の全体の重さをもとにしたペットボトルの重さの割合と、6月の全体の重さをもとにした^{わりあい}ペットボトルの重さの割合を比べると、どのようなことがいえますか。下の1から3までの中から正しいものを1つ選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだわけを、言葉や式を使って書きましょう。

- 1 ペットボトルの重さの割合は、4月のほうが大きい。
- 2 ペットボトルの重さの割合は、4月と6月で同じ。
- 3 ペットボトルの重さの割合は、6月のほうが大きい。

平成 28 年度 C 調査問題小学校 6 年算数

解答用紙

正答数

6 年 () 組 () 番 氏名 ()

問 / 11 問

【1】 (1)	
【1】 (2)	
【1】 (3)	

【2】	
-----	--

【3】	
-----	--

【4】	m L
-----	-----

【5】	ア
	イ

【6】	
-----	--

【7】 (1)	k g	
【7】 (2)		
【7】 (3)	番号	
	選んだわけ	

【1】 (1)	$\frac{6}{25}$
【1】 (2)	$\frac{18}{5}$
【1】 (3)	$\frac{3}{4}$

【2】	1
-----	---

【3】	①
-----	---

【4】	375 mL
-----	--------

【5】	ア	100
	イ	

アとイ両方で完答

【6】	4
-----	---

【7】 (1)	20 kg	
【7】 (2)	1	
【7】 (3)	番号	1
選んだわけ（正答例） ・全体の重さが4月の方が6月より小さいのに、ペットボトルの重さは4月と6月で同じです。ペットボトルの重さの割合は、ペットボトルの重さを全体の重さでわって求めるので、4月の方が大きくなります。 ・4月のペットボトルの重さの割合は、 $20 \div 80 = 0.25$ ・6月のペットボトルの重さの割合は、 $20 \div 100 = 0.2$ 0.25 は 0.2 より大きいので、4月の方が大きくなります。		

番号を1と解答し、次の① ② ③ のすべて、または④を書いている。

- ①全体の重さ（基準量）が4月の方が6月より小さいこと
- ②ペットボトルの重さ（比較量）が4月と6月で同じであること
- ③割合，比較量，基準量の関係
- ④4月と6月のペットボトルの重さの割合

小学校6年算数【1】解説シート

◆出題の趣旨

分数と小数の乗法の計算ができる。

◆学習指導要領との関連

第6学年 A 数と計算

(1) 分数の乗法及び除法の意味についての理解を深め、それらを用いることができるようにする。

イ 分数の乗法及び除法の計算の仕方を考え、それらの計算ができること。

◆解答類型

(1)

		人	%
1◎	$\frac{6}{25}$ または 0.24 と解答しているもの		
2○	$\frac{12}{50}$ と解答しているもの (数学的に同値と判断できるものを含む)		
3	2.4 や 0.024 など正答と異なる位置に小数点を書いているもの		
4	$\frac{2}{3}$ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

(2)

		人	%
1◎	$\frac{18}{5}$ または 3.6 と解答しているもの		
2	36 や 0.36 など正答と異なる位置に小数点を書いているもの		
3	$\frac{6}{15}$ と解答しているもの		
4	$\frac{2}{5}$ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

(3)

		人	%
1◎	$\frac{3}{4}$ または 0.75 と解答しているもの		
2○	$\frac{15}{20}$ と解答しているもの (数学的に同値と判断できるものを含む)		
3	7.5 や 0.075 など正答と異なる位置に小数点を書いているもの		
4	$\frac{25}{3}$ や $\frac{50}{6}$ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◆学習指導にあたって

分数や小数を含む計算は、比や比例と反比例、中学校で学習する文字式や方程式などの学習の基盤となるため、確実にを行うことができるよう指導することが大切です。

小学校6年算数【2】解説シート

◆出題の趣旨

除数が1より小さいとき、商が被除数より大きくなることを理解している。

◆学習指導要領との関連

第5学年 A 数と計算

(3) 小数の乗法及び除法の意味についての理解を深め、それらを用いることができるようにする。

ア 乗数や除数が整数である場合の計算の考え方を基にして、乗数や除数が小数である場合の乗法及び除法の意味について理解すること。

イ 小数の乗法及び除法の計算の仕方を考え、それらの計算ができること。また、余りの大きさについて理解すること。

◆解答類型

1◎	1 と解答しているもの	人	%
2	2 と解答しているもの		
3	3 と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◆学習指導にあたって

数量や図形についてのおよその大きさや形をとらえることによって、解決の見通しを持つことができ、大きな誤りを防ぐことができるため、計算の結果の見積もりや確かめの習慣を身に付けることは大切です。

指導にあたっては、目的に応じて計算の結果の見積もりをする場を適宜位置付け、計算の仕方や計算について振り返って判断できるようにすることが大切です。

小学校6年算数【3】解説シート

◆出題の趣旨

除数と被除数に同じ数をかけて (小数) ÷ (小数) を (整数) ÷ (整数) に置き換えても、商は変わらないことを理解している。

◆学習指導要領との関連

第4学年 A 数と計算

(3) 整数の除法についての理解を深め、その計算が確実にできるようにし、それを適切に用いる能力を伸ばす。

エ 除法に関して成り立つ性質を調べ、それを計算の仕方を考えたり計算の確かめをしたりすることに生かすこと。

第5学年 A 数と式

- (3) 小数の乗法及び除法の意味についての理解を深め、それらを用いることができるようにする。
- イ 小数の乗法及び除法の計算の仕方を考え、それらの計算ができること。また、余りの大きさについて理解すること。
- ウ 小数の乗法及び除法についても、整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解すること。

◆解答類型

1◎	① と解答しているもの	人	%
2	② と解答しているもの		
3	③ と解答しているもの		
4	④ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◆学習指導にあたって

小数の除法の計算においては、除法の性質の理解の上に立って、整数の除法の計算と同じように行うことができることが大切です。

指導にあたっては、整数の除法の計算において、除数及び被除数に同じ数をかけても、同じ数でわっても商は変わらないという除法の性質が成り立つことを確認した上で、小数の除法を整数の除法に置き換える活動を取り入れることが考えられます。例えば、 $42 \div 6$ と $420 \div 60$ の計算結果が同じになることから、除法の性質が成り立つことを確かめ、それをもとに、 $4.2 \div 0.6$ を $42 \div 6$ に置き換えて計算することができることを確認することが考えられます。

小学校6年算数【4】解説シート

◆出題の趣旨

2つの数量のうち一方の量がわかっているとき、2つの数量の比を使って、もう一方の量を求めることができる。

◆学習指導要領との関連

第6学年 D 数量関係

- (1) 比について理解できるようにする。

◆解答類型

1◎	375 と解答しているもの	人	%
2	$\frac{300}{5}$ と解答しているもの		
3	350 と解答しているもの		
4	150 と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◆学習指導にあたって

具体的な場面によって、比の相等とそれらの意味について、理解できるようにすることが大切です。

例えば、2種類の濃さの液体をコップで3杯と5杯を混ぜ合わせた液体を作ったとき、これと同じ濃さの液体を別に作るには、6杯と10杯、9杯と15杯など、両者の割合を等しくする必要があります。このことから、3:5は、6:10や9:15と等しいことを理解させることが考えられます。

小学校6年算数【5】解説シート

◆出題の趣旨

1を超える割合を百分率で表す場面において、基準量と比較量の関係を理解している。

◆学習指導要領との関連

第5学年 D 数量関係

(3) 百分率について理解できるようにする。

◆解答類型

	ア	イ		
1◎	100 と解答	120 と解答しているもの	人	%
2		20 と解答しているもの		
3		類型1, 類型2以外を解答しているもの 無解答		
4	80 と解答	100 と解答しているもの		
5	20 と解答			
6	類型1から類型5以外を解答 無解答			
7	20 と解答	120 と解答しているもの		
8	80 と解答	20 と解答しているもの		
9	上記以外の解答			
0	無解答			

◆学習指導にあたって

日常生活においては、増量や値引きなど様々な場面で割合が用いられています。その意味を理解するためには、基準量と比較量、割合の関係を正しくとらえることが大切です。特に、何が基準量にあたるのかを意識することは大切です。

例えば、本設問を用いて、定員が基準量であることをとらえる場面を設定することが考えられます。その上で、乗っている人数は定員よりも定員の20%分多いことから、乗っている人数の割合は120%であるにとらえることができるようにすることが大切です。また、定員の人数を求める場面を設定することも考えられます。その際、100%を1、120%を1.2に表現し直し、基準量の1.2倍が比較量であることを $\square \times 1.2 = 60$ という式に表現したあと、 $60 \div 1.2$ という除法の式で定員の人数を求めることが考えられます。

小学校6年算数【6】解説シート

◆出題の趣旨

合同な図形をかくために必要な条件を理解している。

◆学習指導要領との関連

第5学年 C 図形

- (1) 図形についての観察や構成などの活動を通して、平面図形についての理解を深める。
 - イ 図形の合同について理解すること。

◆解答類型

1	1 と解答しているもの	人	%
2	2 と解答しているもの		
3	3 と解答しているもの		
4◎	4 と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◆学習指導にあたって

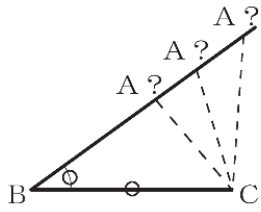
合同な三角形をかくために必要な条件を、三角形の形が1つに決まるという観点から調べるのが大切です。

指導にあたっては、どの辺の長さやどの角の大きさをういれば頂点の位置が決まるのかを調べる活動を取り入れ、合同な三角形をかくために必要な3つの構成要素の組み合わせを明らかにすることが考えられます。その際、次項の図のように、2つの構成要素だけでは頂点の位置が1つに決まらないことを確認し、さらにどの辺の長さやどの角の大きさをういればよいかを見いだす活動を取り入れることも考えられます。

測るところ (二つ)

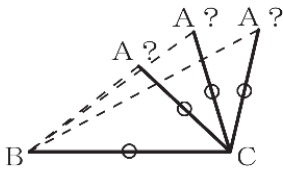
辺BCと角B

頂点Aの位置は
決まらない。



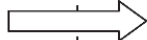
辺BCと辺AC

頂点Aの位置は
決まらない。

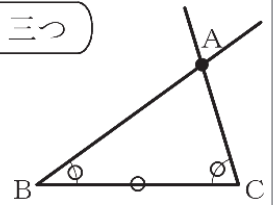


測るところ (三つ)

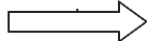
さらに角C



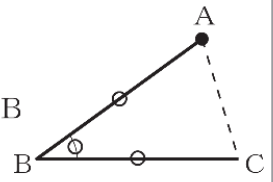
辺BCと角Bと角C



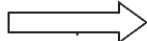
さらに辺AB



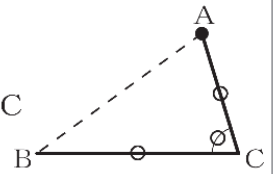
辺BCと角Bと辺AB



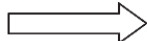
さらに角C



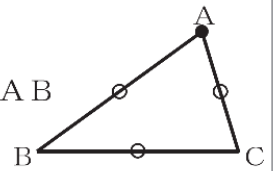
辺BCと辺ACと角C



さらに辺AB



辺BCと辺ACと辺AB



小学校6年算数【7】解説シート

◆出題の趣旨

示されたグラフの特徴を理解し、次のことができる。

- ・グラフから必要な数量を読み取ること。
- ・グラフの特徴をもとに、数量の変化の様子をとらえること。
- ・割合の大小を判断し、その理由を数学的に表現すること。

◆学習指導要領との関連

第3学年 D 数量関係

(3) 資料を分類整理し、表やグラフを用いて分かりやすく表したり読み取ったりすることができるようにする。

ア 棒グラフの読み方やかき方について知ること。

第5学年 D 数量関係

(3) 百分率について理解できるようにする。

◆解答類型

		解 答 類 型	人	%
(1)	1◎	20 と解答しているもの		
	2	80 と解答しているもの		
	9	上記以外の解答		
	0	無解答		
(2)	1◎	1 と解答しているもの		
	2	2 と解答しているもの		
	3	3 と解答しているもの		
	9	上記以外の解答		
	0	無解答		
(3)	(正答の条件) 番号を1と解答し、次の①, ②, ③のすべて、または④を書いている。 ① 全体の重さ(基準量)が4月の方が6月より小さいこと ② ペットボトルの重さ(比較量)が4月と6月で同じであること ③ 割合, 比較量, 基準量の関係 ④ 4月と6月のペットボトルの重さの割合, または4月と6月のペットボトルの重さの割合を求める式			
		番 号	わ け	
	1◎	1 と 解 答	①, ②, ③, ④を書いているもの / ①, ②, ③を書いているもの / ①, ②, ④を書いているもの / ①, ③, ④を書いているもの / ②, ③, ④を書いているもの / ①, ④を書いているもの / ②, ④を書いているもの / ③, ④を書いているもの / ④を書いているもの	
	2○		①, ②を書いているもの	
	3		①, ③を書いているもの / ②, ③を書いているもの / ①を書いているもの / ②を書いているもの	
	4		上記3つの類型以外の解答 無解答	
	5		2 と解答しているもの	
	6	3 と	割合を基準量÷比較量で計算したり, 判断したりしているもの	
	7	解 答	①, ②を書いているもの / ①を書いているもの	
	8		上記2つの類型以外の解答 / 無解答	
	9		上記以外の解答	
	0	無解答		

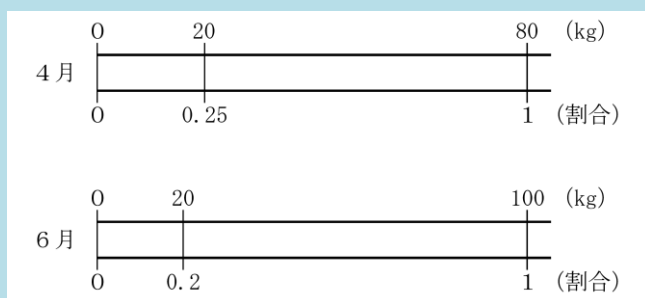
◆学習指導にあたって

算数科の学習だけでなく、社会科や理科などの学習においても、グラフを用いる場面があります。その際、算数で学習した知識をもとにして、様々なグラフから数量などを読み取ることができるようにすることが大切です。

指導にあたっては、算数の学習で様々なグラフを取り上げ、調べる目的を明確にした上で、グラフのどの部分に着目すればよいかを確認する活動を取り入れることが大切です。例えば設問（1）では、4月に集めたペットボトルの重さを調べることが目的であるので、ペットボトルの重さがグラフのどの部分に示されているかを確認することが大切です。また、本問題のようなグラフを提示して、空き瓶などの種類別のものの重さの変化や、全体の重さの変化をとらえるために、グラフのどの部分に着目すればよいかを話し合う活動を取り入れることも考えられます。

資料について考察する場合に、全体と部分、部分と部分の関係を割合を用いて表すことがあります。その際、基準量や比較量にあたる数量が何かをとらえられること、基準量と比較量をもとに割合の大小関係の判断ができることが大切です。

指導にあたっては、基準量と比較量の大小関係に着目して割合の大小を判断する活動を取り入れることが考えられます。その際、基準量、比較量、割合を図に表すなどして、それらの関係をとらえられるようにすることが大切です。例えば、設問（3）では、4月と6月において、比較量が20kgで同じであり、下のような図に表すと、基準量が小さい4月の方が割合が大きくなることを確認できます。



また同様に、基準量が同じ場合には、比較量が大きいが割合が大きくなることについても、数量を図に表してそれらの関係をとらえられるようにすることが大切です。

小学校 6 年算数 全国学力・学習状況調査とのつながり

算数の C 調査問題は、4 月に実施した全国学力・学習状況調査の早期採点の結果から明らかになった各校の課題が、2 学期までの授業でどのくらい改善できているかを確認できるように作成してあります。

下記のように全国学力・学習状況調査問題と関連付けてありますので、自校の取組の成果と課題改善のためにご活用ください。

C 調査 問題番号	H28 年度全国学力・学習状況調査問題との関連
【2】	全国学力・学習状況調査 算数A <u>1</u> (1)
【3】	全国学力・学習状況調査 算数A <u>1</u> (2)
【4】	全国学力・学習状況調査 数学A <u>3</u> (3)
【5】	全国学力・学習状況調査 算数A <u>9</u> (2)
【6】	全国学力・学習状況調査 数学A <u>7</u> (1)
【7】	全国学力・学習状況調査 算数B <u>1</u> (2)

【4】【6】は、中学 3 年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査問題で、小学校の学習内容に関連した問題です。